



コロナ禍における 在日ベトナム人支援について

—在日ベトナム仏教信者会と大恩寺の活動を中心に—

日時

7/10月

16:30 - 17:50

講演 スケジュール

16:30 - 17:30

講演

17:30 - 17:50

質疑応答

* 講演は日本語で行われます（一部ベトナム語）。

* 未就学児の入場はご遠慮ください。

会場

823 教室 成城大学 8号館 2階

▶ 参加自由・参加費無料

◆ 演者：ティック・タム・チー師
(Thích Tâm Trí、釈心智)

大恩寺Chùa Đại Ân住職、在日ベトナム仏教信者会会長



ティック・タム・チー師は、1978年、ベトナム生まれ。7歳で自ら望んで出家。2000年末に来日し、大正大学（仏教学科）、同大学大学院（修士課程）、国際仏教大学院大学（博士課程）にて大乘仏教典を研究。

その間、2011年3月に東日本大震災が発生したことから、被災したベトナム人技能実習生や留学生を救出、保護。以来、在日ベトナム仏教信者会の代表理事や埼玉県北部に開山した大恩寺の住職などとして、若い技能実習生や留学生を支援。2020年に発生したコロナ禍以降は、行き場をなくした技能実習生や留学生の保護、支援等を継続するとともに、ベトナムと日本の交流を精力的に進めている。